

私たちは、「自分は、弱い。だから、大したことはできないだろう。」と思ったりします。

### 御霊の助け v26

v26 <同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。>

→ コリント I 6:19 <あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。>

→ コリント I 6:18 <淫らな行い(不品行)を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のもので。しかし、淫らなことを行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。>

<助ける> = シュン・アンティ・ランバノマイ[ギ]  
「いっしょに・向き合って・支えてくれる(運んでくれる)」

### 神のみこころ v27-33

v27 <人間の心を探る方(父なる神)は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。>

v28 <神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。>

<私たちは知っています。>

ローマ人への手紙執筆	AD55年、56年頃。
十字架、復活、ペンテコステ	AD30年頃
アンティオキア教会の成長	AD45年頃
パウロの第1回伝道旅行開始	AD47年頃

v29 <神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。>

人間とは何か？

→ 創世記 1:26 <神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」>

v27 <神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。>

v30 <神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。>

### キリストの助け v34

v34 <だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていただくのです。>

三位一体の神が、私たちのために、集中して祈り、支えていてくださる。私たちが弱くても何の問題もない。